

平成30年度 全国学力学習状況調査 結果概要

〈島本町立第一中学校〉

調査結果（平均正答率％）

	一 中	全 国	大 阪
国語 A（主として知識）	80.0（105）	76.1	75.0
国語 B（主として活用）	67.0（109）	61.2	59.0
数学 A（主として知識）	72.0（109）	66.1	65.0
数学 B（主として活用）	53.0（113）	46.9	46.0
理科	71.0（109）	66.1	64.0

※（ ）の数字は全国平均値を100としてみた場合の本校のポイント

1 今年度の特徴的な傾向

国語A・Bともに「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての領域で全国平均を上回っている。

特にB（活用）で、「記述式」の問題に対しての正答率がやや高い。

数学A・Bともに「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全ての領域で全国平均をほぼ上回っている。数学Aの「資料の活用」のみ全国を若干下回っていた。昨年度に比べ特に「関数」の領域で高い値を示している。

理科は第一分野（物理・化学）、第二分野（生物・地学）ともに全国平均を上回っている。特に「地学的領域」や「記述式」問題の正答率で高い値を示している。

国語は無回答率が全国平均に比べ低かったが、数学、理科はともに全国平均並みであった。

2 結果を基にした今後の対策

国語：「書くこと」の領域について、昨年より国語科以外でも「書くこと」を意識させた取組を進めたことで、成果が表れている。今後さらに様々な場面で自分の考えを文章にまとめたり、家庭学習の中でも文章を書く習慣をつけるような宿題等を工夫することで、「書くこと」に対する抵抗感を減らし、学習に向かう力をつけることが必要。

また、言語活動の充実を図るため、ディベートや図書館活用を取り入れた授業展開をより活発に行うことが必要。

数学：基礎知識としての計算や図形の問題は、定着のために繰り返し、ドリルとしておこなうと同時に資料の活用や長文の問題がしっかりと理解できるよう授業中に生徒たちが能動的に解いていく場面を増やす。

また、「確率の問題」などにしても日常生活に関係する「ものごと」と掛け合わせて問題の理解が進むように授業者が指導方法を工夫することが必要。

理科：自然事象への関心を高め、観察や実験に積極的に関わろうとする意識を持たせることが重要。そのために外部人材の活用等も含め、さまざまなアプローチから理科や科学技術に対する関心を持たせる工夫を進める。また、観察や実験を通してグループでの話し合いや考察、振り返りの作業を繰り返し定着させることが必要。

全体として、子どもたちが主体的・対話的な学びをさらに深められるよう新学習指導要領の実施に向けた授業改善の進展を図る。

生徒の自学自習力を付けるために家庭や地域と連携した具体的な取組をさらに充実させていく。

平成30年度全国学力・学習状況調査

＜ 生徒質問紙調査の結果から見えるもの 抜粋 ＞

1：当てはまる 2：どちらかといえば当てはまる

3：どちらかといえば当てはまらない 4：当てはまらない

質問事項			1	2	3	4	5	6
1	自分には良いところがある と思いますか。	一中	46.3	38.0	12.0	3.7		
		全国	33.7	45.1	15.2	6.0		
		昨年度比	+6.1	-4.7	+0.8	-1.9		
2	普段1日あたりどのくらい の時間勉強しますか。	一中	17.6	28.1	26.9	15.7	10.2	6.5
		全国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9
		昨年度比	+13.1	±0	-5.7	-7.9	+2.3	+3.1
※学習の時間			3h	2h～	1h～	0.5h	～0.5	no
3	地域や社会で起こっている問題 や出来事に興味がありますか。	一中	37.0	35.2	23.1	4.6		
		全国	20.0	39.3	28.1	12.5		
		昨年度比	*	*	*	*		
4	地域や社会をよくするために 何をすべきかを考えることが ありますか。	一中	21.3	36.1	29.6	13.0		
		全国	10.6	28.1	39.6	21.7		
		昨年度比	*	*	*	*		
5	先生はあなたの良いところ を認めてくれていますか。	一中	52.8	37.0	10.2	0.0		
		全国	32.5	49.7	13.6	4.2		
		昨年度比	-4.5	+5.5	+1.2	-2.2		
6	学校の規則を守っていますか。	一中	64.8	33.3	1.9	0.0		
		全国	63.4	31.7	3.9	0.9		
		昨年度比	-10.5	+9.7	+1.9	-1.4		
7	新聞を読んでいますか。	一中	32.4	27.8	15.7	23.1		
		全国	4.9	9.0	15.3	70.4		
		昨年度比	+29.0	+15.4	+3.3	-48.8		
8	1.2年生のときに受けた授業では課題 の解決に向けて、自分で考え、自分 から取り組んでいたと思いますか	一中	41.7	32.4	21.3	4.6		
		全国	26.3	47.5	23.4	5.3		
		昨年度比	*	*	*	*		

9	1.2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表するときは、うまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫していましたか。	一中	31.5	40.7	21.3	6.5		
		全国	16.6	37.2	33.4	12.5		
		昨年度比	*	*	*	*		
10	生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	一中	50.9	34.3	11.1	3.7		
		全国	32.4	43.9	17.3	6.3		
		昨年度比	*	*	*	*		
11	数学の授業の内容はよく分かりますか。	一中	51.9	35.2	11.1	1.9		
		全国	28.2	42.8	19.7	7.4		
		昨年度比	+8.1	+4.9	-4.6	-8.2		
12	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	一中	51.9	31.5	13.0	3.7		
		全国	45.6	35.0	13.6	5.7		
		昨年度比	*	*	*	*		
13	理科の授業の内容はよく分かりますか。	一中	44.4	42.6	12.0	0.9		
		全国	26.6	43.4	22.8	7.1		
		昨年度比	*	*	*	*		
14	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	一中	29.6	28.7	30.6	11.1		
		全国	16.8	28.6	34.9	19.6		
		昨年度比	*	*	*	*		
15	理科の授業で自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表したりしていますか。	一中	19.4	34.3	33.3	13.0		
		全国	13.1	28.3	37.3	21.2		
		昨年度比	*	*	*	*		

- 自分に良いところがあると肯定的にとらえている生徒が増加した。
- 家庭での勉強時間で3時間以上の生徒が昨年度に比べ大きく増加している。
自学自習力育成の取組からまったく勉強しない生徒の数は昨年大幅に減ったが、少数ながらまだ家庭学習の習慣が定着できていない生徒がいる。
- 地域や社会の出来事に関心や興味を持っている生徒が全国平均に比べ多い。
- 個に応じた指導の推進により、先生が自分の良いところを認めてくれると感じている生徒が昨年大幅に増加し、それが維持できている。

- 学力向上のテーマとしている「主体的・対話的で深い学び」の創造につながる生徒同士が話し合う場面を各教科で多く持たれていることがデータの中で、成果として表れている。
- 担当教諭の指導にともない、新聞を多く読む学年とそうでない学年とが顕著に現れることがデータから読み取れる。今年度は増加。